

研究タイトル：

降雨の時間分布と空間分布の定量化



氏名：鈴木正人 / SUZUKI Masato E-mail: suzumasa@gifu-nct.ac.jp

職名：教授 学位：工学博士

所属学会・協会：土木学会・水文水資源学会

キーワード：自然現象観測・予測, 河川工学

技術相談
提供可能技術：
・時系列解析
・統計処理
・VBA を用いたデータ処理

研究内容： 気候変動が雨の降り方にどのように現れているかを検証

温暖化によって雨の降り方は変化しているのかを客観的に評価

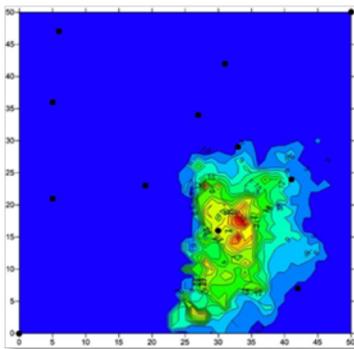
温室効果ガスの増加が主因と思われる地球規模の温暖化が問題視されています。さらに、都市部に人工的な熱源が集中することによる温暖化、すなわちヒートアイランド現象により、都市部における気温上昇は郊外に比べて激しくなっています。

このような熱環境の変化はただ単に気温の増加にとどまらず、熱をエネルギー源とする水の循環にも何らかの形で変化が起きていることが予想されます。

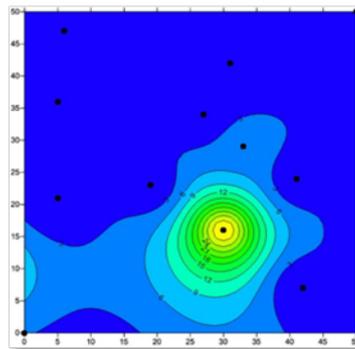
近年、都市部において観測されている「ゲリラ豪雨」のように、短い時間に狭い範囲に降る雨は、気候変動の現れかもしれません。

しかし、近年になって、雨の降り方が変化してきていることを実証するためには、雨の降り方を何らかの形で定量化し、その経年変化を調べる必要があります。

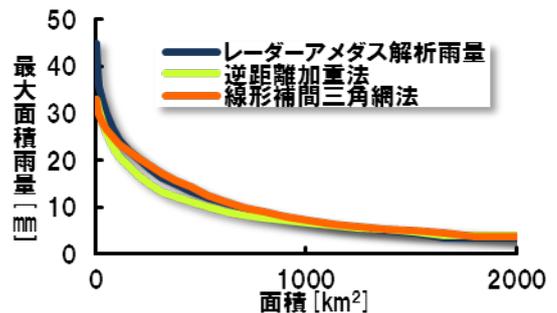
そこで、雨の時間分布、空間分布を定量化し、気温と雨の降り方の関係を統計的に検証したり、雨の降り方の経年変化を調べることに取り組んでいます。



レーダーアメダス解析雨量



逆距離加重法で補間した雨量



DA曲線による降雨空間分布の表現

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)

特に無し

名称・型番(メーカー)	
特に無し	